



がん研有明病院

腫瘍循環器・循環器内科

【部長メッセージ】

がんは不治の病では無いと言われるようになって参りました。がんが治る可能性は高くなり、治らなくとも効果的ながん治療薬が継続できる事で患者はより長く生きられるようになってきております。その反面、がん治療中の心血管疾患の合併で効果的ながん治療の中断を余儀なくされたり、がんが治せても心血管疾患で命を落とすケースが増加してきているという問題が世界的にも問題となってきております。

長年にわたりがん領域と循環器領域は最も離れた領域同士でありましたが、もうその時代は終わりました。これからも発展して行くがん診療に於いて、循環器医の介入が強く求められています。

日本屈指のがん専門病院であるこのがん研有明病院で、がん診療のシャワーを浴び、ともに有能な腫瘍循環器医を目指そうじゃありませんか。

熱意のある先生方の応募を心待ちにしております。

がん研有明病院 腫瘍循環器・循環器内科

部長 志賀 太郎